

みどりの活動紹介～楽しい公園施設にお出かけください

そこにしか住めない生物

駒場野公園の特色である雑木林の中には、伐採した樹木や剪定した枝、キノコ栽培で使い終わったほだ木を積み重ねている場所がいくつもあります。これらの場所は一見すると“ごみ山”と誤解されがちですが、決してそうではありません。

木は人の暮らしに欠かせない資源です。そして膨大な数の生物が住む場所でもあります。“朽ち木”は数多くある多様性の中で重要な役割を担う環境のひとつ。朽ち木があるこの公園には、都会ではお目にかかれぬ生物に出会うことができますよ。

(駒場野公園自然観察舎 電話 03-3485-1754)



ネムノキが咲きました

中目黒公園のちびっこ広場には大きなネムノキがあります。毎年6月に花の見頃を迎えます。ふんわりと赤いポンポン状の花は梅雨空に映えとても美しいです。今年は6月1日頃より花が咲き始め、落花しながらもまた次の花が順々に咲いていきます。夜になると葉が閉じることから、ネムノキと名づけられたようです。ネムノキは、マメ科の植物で、荒地に最初に生えることができ、成長も早いパイオニアツリーとしても知られています。夏の花やみどりを楽しみにお出かけください。

(中目黒公園花とみどりの学習館 電話 03-5721-0871)

歩もう 野の鳥の歌が聞えるまち 計画紹介その6

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため平成26年4月から推進している『ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画(目黒区生物多様性地域戦略)』をポイント紹介いたします。

	高さ(m)	果熟期(月)	実の色	種陽	乾湿	さし木	
常緑低木	マンリョウ	06~2	10~12	赤	陰	湿	●
	ヤブコウジ	02	12~2	赤	陰	中	●
	ヒサカキ	10	10~11	紫・黒	中	乾	●
	マサキ	2~6	10~12	橙・赤	陰	湿	●
	ネズミモチ	2~6	10~11	紫・黒	陽	湿	●
イヌツゲ	2~6	10~11	黒	陰	適湿	●	
常緑高木	モッコク	7~15	10~12	紅	陽	湿	▼
	クロガネモチ	6~18	11~12	紅	陽	適湿	●
	シラカシ	20	秋季	どんぐり	陰	中	▼
落葉低木	ガマズミ	15~4	10~11	紅	陽	適湿	●
	ウメモドキ	2~5	10~11	紅	陽	適湿	▼
	ニシキギ	3~8	10~11	黄紅	陽	適湿	●
	ムラサキシキブ	3~5	10~11	紫	半陰	湿	●
	マユミ	6~9	10	紅	陽	適湿	●
	ズミ	3~6	9~10	紅	陽	湿	●
ツルウメモドキ	ツル性	11~12	黄・赤	陽	適湿	●	
落葉高木	ムクノキ	20	10~12	黒	半陰	適湿	▼
	イイギリ	10~15	10~12	赤	陽	湿	▼
	カキンキ	20	10~11	黄・赤	陽	適湿	▼
	エンキ	10~20	10	赤・褐	半陰	湿	▼
	ウメ	3~6	(花の蜜)		陽	適湿	●
	クサギ	3~10	10~12	紫・紺	陽	適湿	●
	ミズキ	~20	8~10	紫・黒	陽	湿	●
	ヤマザクラ	6~12	6~7	紫・紫	陽	適湿	●
	コナラ	20	秋季	どんぐり	陽	中	▼

虫を呼ぶ木や草一覧表

食樹	ミカン類	アゲハ・クロアゲハ・ナガサキアゲハ
	クスノキ	アオスジアゲハ
	フジ	ウラギンシジミ
食草	エノキ	ゴマダラチョウ・アカボシゴマダラ
	ソウマメ	ウラナミシジミ
	シロツメクサ	ツバメシジミ
	カタバミ	ヤマトシジミ
	スイバ	ベニシジミ
ハナダイコン	ツマキチョウ	
吸蜜植物	フジツツギ	ツマグロヒョウモンなど
	ハギ	キタキチョウ・ウラナミシジミなど
	クサギ	アゲハなど
	ネムノキ	アゲハなど
その他	イチジク(実)	ルリタテハ・カナブン類など
	カキノキ(実)	クワガタ・カナブン類など





緊急！がま（ヒキガエル）調査



夜になると道や庭先で出会い、『ドキッ』とするヒキガエル。近年、その数がとても減っています。普段住んでいる土の面が減ったり、道や塀で分断されたりとか、産卵する池がなくなったなど原因はいろいろあるようです。東京都は「準絶滅危惧」に指定しています。今年、区では、地面で暮らす土のいきものの代表として、ヒキガエルの緊急調査を行っています。以前は各地で見られたヒキガエル、今年はどこで見られているでしょう。今年、卵を産んだ池はどこにあるのでしょうか。まだお知らせいただいていない方はご協力ください。

- (調べる内容) ・2017年の月と日、どこで、何匹が、何をしていた
 ・産卵した池の場所と、わかれば卵を見た月日

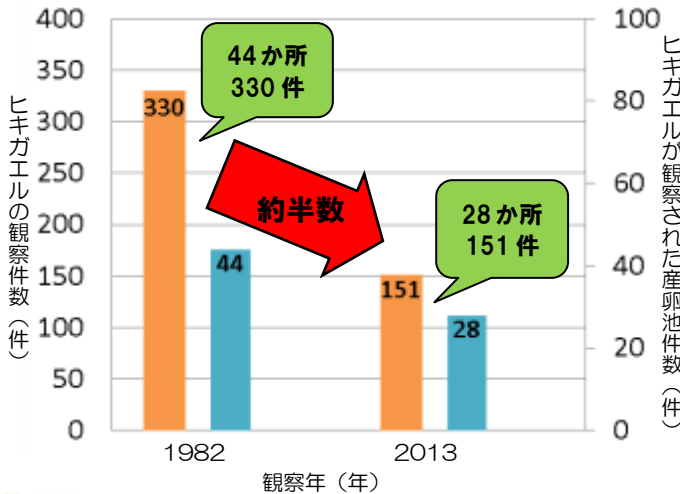
(調査用紙) FAX・郵送用の用紙を同封いたしました
 上記内容を、お葉書やEメールなどでお知らせいただいても可

(締切) 9月末までに「みどりの係」までお送りください



菅刈公園の池で出会った2匹

●減っているヒキガエル



1982年には区内44か所で330件の観察が報告されていますが、2013年は区内28か所151件の報告にとどまっています。



現在調査中のいきものたち

セミの初鳴き ツバメの巣 カブトムシ・クワガタ発見
 ヤモリ・トカゲ・カナヘビ ススキの穂・・・など

お知らせいただく項目

- いつ
- どこで
- なにを見た
- ようす・メッセージ



- いつも観察情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録としてパソコンに集約しております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
- 調べるいきものたちのパンフレットをご希望の方は、係までお申し込みください。また、『めぐろのいきもの80選』を目黒区総合庁舎、自然観察舎、花とみどりの学習館、目黒区書店商業組合加盟の書店などで販売中(1冊400円)です。
- いただいた写真等は、通信員だよりのほか区発行の印刷物に使用することがありますのでご了承ください。
- 通信員をおやめになりたいときや、転居のとき、お名前の誤りなどはお電話等でご一報ください。
- 観察情報や写真は郵便・FAX・Eメール (sizen@city.meguro.tokyo.jp) でみどりと公園課までお送りください。お写真をいただくと、種類を見分けるのに役立ちます。
- 通信員だよりはホームページからダウンロードできます。発行時にはメールでお知らせすることもできます。通信員だよりの郵送が不要の方は、上記のメールでご連絡ください。

お詫び

2016年7月25日発行 自然通信員だより第58号の「目黒区いきもの住民台帳『目黒区の蝶と蛾』を作成しました!」につきまして、「目黒区の蝶類の記録種数はチョウ目61種、ガ目259種」という記載をいたしました。正しくは「目黒区のチョウ目の記録種数はチョウ類61種、ガ類259種」です。誤った情報を掲載し、大変申し訳ございませんでした。